

委員名	ご意見	関連する ライフステージ	事務局からの回答
太田委員	全体的にデータの母数が分からない。%表記だけではデータの信憑性が分からない。	乳幼児期・学齢期・成人期・高齢期・障がい児、者	P53～57までの参考資料に全体のデータ母数をや算出方法について記載しています。
	20歳代（未処置歯・炎症所見）の評価の際、妊産婦歯科検診とそうでない方の区別をつける。データの母数が少なく、データに妊産婦が入っているので、ホルモンバランスから一般成人の結果と状況が違っていると予測されるので、評価する際、区別した方がいい。	成人期	妊産婦歯科健診受診者とそうでない方の受診者数を区別して評価する場合、妊産婦以外の受診者が少ないため、評価の標本としての意味合いがなくなってしまうため今回の最終評価報告書では区別をせず評価させていただきます。
	40歳代の指標に対し、少ないとは思いますが妊産婦歯科健診のデータが混ざっていないか確認が必要。	成人期	
	オーラルフレイルや口腔機能低下症という言葉が課題の文言に追加してみてもどうか。	成人期・高齢期	P47の最終評価の総括の中にオーラルフレイルという文言を入れています。P51に委員からいただいた意見として⑯の誤嚥性肺炎の前に、オーラルフレイルや口腔機能低下症という文言を追加します。

委員名	ご意見	関連する ライフステージ	事務局からの回答
太田委員	<p>P45の市の重点施策の評価の「成人の歯科検診受診の促進」の結果は「佐世保市民の健康に関する実態調査」からとったものとあるが母数はどのくらいか。この重点施策への事業としては、成人歯科健診、離島歯科検診となっているので、その受診割合を結果とするのも考えていいのではないか。グラフは改善傾向にあるが、数値としてはあまり変化がない。中間評価までの間、最終評価までの間にどのような取り組みをしたのか教えてほしい。</p>	成人期	<p>母数は、H23は1,488名、H28は1,366名、R4は1,282名（いずれも20～69歳）の回答となっています。重点施策の「成人の歯科検診受診の促進」は、市民がかかりつけ歯科医を持ち、定期的な歯科健診受診することを促進し、妊産婦を含め成人の歯科健診の受診者増に向けた取組を推進していくこととしています。実施計画では重点施策を達成させるための取組のひとつとして成人・離島を挙げており、受診割合の結果とはまた別のものとなります。</p> <p>取組としては、イベントやラジオ、各教室、ドラッグストアや協議会団体へのポスター掲示のお願い等を行ってきましたが、一番は、市民の口腔に対する意識も昔と比べて高まってきているのではないかと考えられます。</p>

委員名	ご意見	関連する ライフステージ	事務局からの回答
太田委員	<p>《文言の修正》</p> <p>1) P47の最終評価の総括の下から3行目 「フレイル（虚弱）の前兆を示すフレイルとして」→「フレイル（虚弱）の前兆を示すプレフレイルとして」</p> <p>2) P48（1）歯科疾患の予防の中段の2行目 「働き盛りの世代に対し、（中間省略）引き続き、普及啓発をおこなっていくことが必要である」とあるが、重点施策でも大きな改善が見られなかったので、「引き続き」ではなくより重点的な普及啓発が必要であると思う。</p> <p>3) P51⑮「医療費削減」という文言は不適切なので削除してほしい。オーラルフレイルや口腔機能低下症、全身疾患の予防という健康維持の言葉に置き換えると良い。</p>		<p>1) 2) のご指摘について文言の修正をおこないます。</p> <p>3) につきましては、「医療費削減」を削除し、⑮の「…お口の健康が全身疾患の予防の一助となるということ」を認識してもらうため企業側が従業員に対して…」という文言に修正します。</p>
松永委員	14歳ではグラフが波があるが、17歳では評価がAとなっている。この結果をどうとらえるか。	学齢期	前回の部会でもご意見がありましたように、学年によって集団の差があるのではないかと考えられます。

委員名	ご意見	関連する ライフステージ	事務局からの回答
松永委員	3歳児での不正咬合が認められる者の割合の減少に「口腔機能発達不全症」についての文言を入れたらどうか。	乳幼児期	P33の評価に係る要因分析と課題では、「口腔機能発達不全症」という疾患名は乳幼児健診の中で診断はできないため、P51の委員からいただいた意見⑪の文中の「…癖が原因で <u>口腔機能発達不全症</u> が起きること…」に入れるようにします。
	P37の中で、保護者へ歯科受診を促すための情報提供継続とあるが、どのようなものが考えられるか。	障がい児	初診時に歯みんぐ・ルーム（歯科健診・相談）のご案内、また「お口の健康に関するアンケート」の回答中で受診先に関する情報を求めている保護者を健康づくり課につなぎ、健康づくり課から受け入れが可能な歯科医院を紹介するなどを実施しており、これらを引き続き実施していきます。

委員名	ご意見	関連する ライフステージ	事務局からの回答
松永委員	市の重点施策の目標で「子どものフッ化物洗口の推進」の指標を「施設数」ではなく、「実施者率」割合も表記するようにした方がいいのではないか。	乳幼児期・学齢期	実施者率は各市町別に県のHPに掲載されています。ご参照ください。
	P50の中に学校歯科健診後の事後措置率の向上を促すような項目を追加してほしい。	学齢期	どのような文言として追加した方がいいのかご教示ください。